

## 本協会総会

# 学教法第一条に新しい学校種を!

## 中込会長再選・20年度事業計画など承認



あいさつする中込三郎会長—左上—と事業計画などを決めた平成20年度定例総会

本協会(中込三郎会長)は6月12日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で平成20年度定例総会を開いた。総会では、平成20年度事業計画案並びに同収支予算案などを審議し、原案通りこれを承認した。また任期満了に伴う役員改選も行われ、中込会長を再任した。

総会の冒頭、中込会長が「我々にとって新しい学校種の創設が最大の課題であり、職業教育に特化した新しい高等教育機関を学校教育法の第一条に作って欲しい」と文部科学省にお願している」とあいさつし、第一条に規定された新しい学校制度の創設に向けて強い意欲を示した。

続いて、文部科学省の寺門成真専修学校教育振興室長が、あいさつを兼ねて文部科学省に設置された「専修学校の振興に関する検討会議」の審議状況について説明した。

総会では、議長団に中西義裕常任理事、平田眞一理事を選出し、実質的な審議に入った。まず、第一号議案・平成19年度事業報告、

第二号議案・同決算報告並びに監査報告が一括して審議され、原案通りこれを承認した。続いて、第三号議案・平成20年度事業計画案、第四号議案・同収支予算案も一括して上程され、審議の上、満場一致でこれらの議案も承認された。

平成20年度の運動方針に「学校教育法第一条に規定される職業教育等を主たる目的とする新専門学校の創設」、さらに高校生の主体的な選択を尊重した適切な進路指導に供する「現行の専門学校の明確な位置づけ」を掲げ、その上で新専門学校と現行の専門学校が協力して高等教育の分野で職業教育等を展開し、高等教育の総合力を高めていくとしている。

具体的活動方針として①学校教育法第一条に規定される新専門学校の創設の高等職業教育機関としての専門学校の振興に向けた主要な諸施設の実現③専門学校と他の高等教育機関との格差是正④自己評価及び外部評価等を推進し、教員の資質向上、職業教育力の充実—など7本の柱を建てている。

特に「専修学校の振興に関する検討会議」が論点整理という新しい段階に入ったことから、「職業教育等を主たる目的とする新たな学校種の創設」及び「現行の専修学校制度における職業教育力の充実・向上」を今年度の運動の目玉に据えて、一条校化推進本部を中心に強力な運動を展開、東京における振興大会の開催も事業計画に盛り込んでいる。

第五号議案・任期満了に伴う役員改選では、中込会長の再任を満場一致で承認した。

20・21年度の役員決まる  
本協会(中込三郎会長)は9月

9日、東京・千代田区のアールカディア市ヶ谷で理事会を開き、平成20・21年度の役員を決めた。副会長、常任理事は次の通り。(敬称略)  
▽副会長 岡本比呂志(埼玉) 小林光俊(東京) 岩崎幸雄(神奈川) 渡辺敏彦(新潟) 磯村義安(愛知) ▽常任理事 吉田松雄(北海道) 龍澤正美(岩手) 中島利郎(群馬) 秋葉英一(千葉) 千葉茂(東京) 武田哲一(東京) 齋木寛治(岐阜) 中村徹(静岡) 中西義裕(愛知) 重里徳太(大阪) 福田益和(大阪) 坪内孝満(島根) 川越宏樹(宮崎)

## 第20回全国生涯学習フェスティバル 「職業教育の日」の広報活動を展開



「職業教育の日」の普及を図る広報活動に努めた。

## 中込会長が塩谷文科大臣表敬

本協会の中込三郎会長、中村徹常任理事らは9月30日、東京・千代田区霞が関の文部科学省に塩谷立文科大臣を表敬訪問し、専修学校の振興などについて話し合った—写真—

塩谷文科大臣は、専修学校等振興議員連盟の事務局長を務めており、また静岡県出身ということもあって中村常任理事とも親しく、和やかなムードの中で意見交換が行われた。

中込会長が専修学校における職業教育や、学教法第一条校化に塩谷文科大臣の理解を求めたのに対し、大臣は「文部科学省も体験学習を定着させるうえで職業教育は重要だと考えている。若者たちの職業観や勤労観を育成するためにしっかり頑張っていたいただきたい」と述べ、専修学校の教育に理解を示した。

## まなびピアふくしま2008

まなび愛 うつくしまから 夢発信—を大会キャッチフレーズに、第20回全国生涯学習フェスティバル『まなびピアふくしま2008』が10月11日から5日間の日程で、福島県9市町で一斉に開かれた。

主会場となった郡山市のビッグパレットふくしまでは、生涯学習見本市が開かれ、135団体が168ブースを出展し、様々な形で「まなび」の情報を全国に発信した。

本協会も全国専修学校各種学校総連合会や財団法人専修学校教育振興会と共同で独自のブースを設営、専門学校教育の現状やJ検・B検の紹介などを行った。またトートバック等の配布を通して来場者に「7月11日職業教育の日」の普及を図る広報活動に努めた。

# J検

「創る」「使う」「伝える」  
情報検定

### 情報活用試験

※文部科学省後援

<後期(一般試験)>  
試験日 平成20年12月14日(日)  
出願期間 平成20年9月1日(月)~10月27日(月)  
実施級/受験料  
1級.....4,000円  
2級.....3,500円  
3級.....1,500円

---

### J検情報活用基礎

※団体限定

試験期日A日程 平成20年11月30日(日)~12月6日(土)  
試験期日B日程 平成21年2月1日(日)~2月7日(土)  
出願期日A日程 平成20年9月1日(月)~10月27日(月)  
出願期日B日程 平成20年11月1日(土)~12月15日(月)  
受験料 .....1,500円

### 情報システム試験

※文部科学省後援

システムエンジニア認定  
プログラマ認定

<後期>  
試験日 平成21年2月8日(日)  
出願期間 平成20年11月1日(土)~12月15日(月)  
実施級/受験料  
基本スキル.....2,500円  
システムデザインスキル.....2,000円  
プログラミングスキル.....2,000円

詳細はホームページをご覧ください  
財団法人 専修学校教育振興会 検定試験センター  
TEL.03-5275-6336

### 情報デザイン試験

※文部科学省後援

ビジュアルデザイン分野認定  
インタラクティブメディアデザイン分野認定  
プレゼンテーションデザイン分野認定

<後期>  
試験日 平成21年2月8日(日)  
出願期間 平成20年11月1日(土)~12月15日(月)  
実施級/受験料  
必須共通科目.....2,000円  
ビジュアルデザイン.....1,500円  
インタラクティブメディアデザイン.....1,500円  
プレゼンテーションデザイン.....1,500円

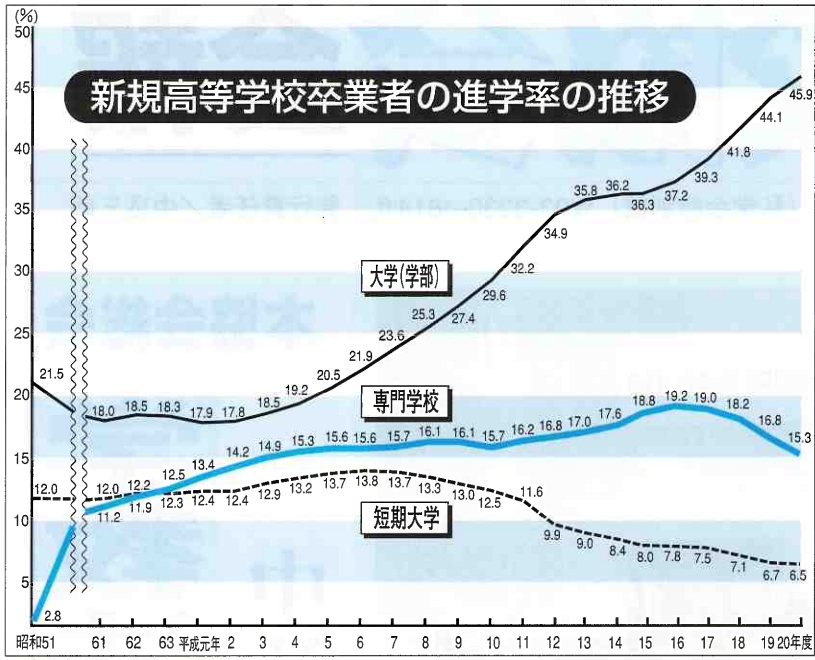


平成20年度文科省 学校基本調査(速報)

厳しい環境依然として続く

文科省は8月7日、平成20年度の学校基本調査(速報)を公表した。それによると、今春の新規高卒者の専門学校への進学率は前年より1.5ポイントダウンして15.3%になり、4年連続して低下したことが分った。これに伴って、在籍者も前年より4万4628人減って58万2769人となり、60万人の大半を割り込んで平成20年度の数字に逆戻りした。

調査によると、今春の高校卒業者は前年より5万8916人少ない108万8243人で、16年連続の減少。このうち専門学校への進学者は前年より2万6070人減って16万7004人となり、進学率も4年連続で下降して15.3%だった。また



大学等を卒業して専門学校へ入学した者は、前年より951人減って1万9847人となり、入学者全体に占める割合は7.8%で前年よりわずかながら上昇した。内訳は大学卒業生1万4638人、短大卒業生4473人、高等専門学校卒業生736人となっている。このほか専門学校から大学へ編入した者は2636人で、前年に比べて159人減っている。

また就職した者は、前年より5772人少ない20万5336人となり、就職率は景気の回復などを反映して5年連続の上昇(0.5ポイントアップ)で18.9%となった。

過年度高卒者等を含めた高等教育機関への進学率は、前年より0.5ポイント上昇して76.8%となった。内訳は大学49.1%(1.9ポイントアップ)で過去最高、専門学校20.6%(1.1ポイントダウン)、短大6.3%(0.2ポイントダウン)などとなっている。

専門学校の分野別学生数

Table with columns for 'Total' and various fields: Industrial, Agriculture, Medical, Nursing, Education/Social Welfare, Business, Clothing/Textile, Culture/Nutrition. Rows show student numbers from 2005 to 2020.

平成21年度 専修学校関係概算要求について

文科省生涯学習政策局生涯学習推進課 [単位:百万円]

専修学校関係概算要求額 1,447 (1,312) [対前年度 134百万円増(10.2%増)]

- 1 専修学校を活用した就業能力向上支援事業(新規) 659 (0)
2 専修学校留学生総合支援プラン(新規) 146 (0)
3 専修学校教育重点支援プラン(拡充) 474 (417)
4 専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン 147 (147)
5 専修学校教育等の運営改善に関する調査指導 21 (21)
前年度限り経費 (728)

Table of budget items for special schools, including private school facility improvement subsidies, research equipment subsidies, and teacher training subsidies.

9月16日付の人事異動で専修学校教育振興室長に就任した。前職は振興局基礎基盤研究課ナノテクノロジ

人事異動 専修学校教育振興室 室長に高橋雅之氏. Includes photo of Mr. Takahashi and text about his appointment and background.

Bottom advertisement for 'Business Ability Examination' (Bケン) and 'Tokio Marine Nichido' insurance services.